



CTデータ スキャンプロトコル

造影剤なしの肩のCTスキャンをご撮影ください
施設の管理アカウントで直接アップロードをしてください

<https://www.artrexvip.com/>

arthrex vip

検索

- Virtual Implant Positioning™ (VIP™) システムでは、薄いスライス厚の画像(Thin Slice画像)のみ使用
- 肩甲骨の内側および下縁を必ず含めること
- CT肩関節スキャン(造影剤なし)
- 再構成画像(Reformatted images)は不可
- 標準または軟部組織フィルター/アルゴリズムを推奨
- CTスキャンは肩鎖関節(AC関節)より数スライス上から開始し、肩甲骨全体と上腕骨の近位1/3までを含める
- 対側(健側)に金属インプラントがある場合、金属アーチファクトを最小限に抑えるため、患側の腕を患者の頭上に配置する
- 患側に金属インプラントがある場合、メーカー推奨の金属アーチファクト低減アルゴリズムを適用する

CTスキャン画像のアップロードについて

CTスキャン画像は、撮影日から6か月以内のものをご使用ください。
6か月を超える画像は、システム上アップロードできませんのでご注意ください。

CTデータのファイル名に関するご注意

本システムでは、2バイト文字(例:日本語、全角文字など)を含むファイル名のCTデータはアップロードできません。
CTデータをご準備いただく際は、半角英数字のみを使用したファイル名で保存いただきますようお願いいたします。

推奨CT設定

画像の不適合や不十分な品質による申請プロセスのやり直しを防ぐため、以下の基準を推奨します。

患者位置	仰臥位、腕は体側、肩は中間位、肩をガントリ中央に配置
スライス厚	最大1mm、最小0.2mm、推奨0.6mm
再構成間隔(コリメーション、スキャン間隔)	最大1mm、1mm以下であれば更に望ましい
撮影モード	スパイラルまたはヘリカル
視野(FOV)	AC関節より上から開始し、肩甲骨全体と上腕骨近位1/3を含める範囲で最小FOVの使用
スライス間隔	連続スライス(ギャップなし)
ピッチ	1未満
ガントリ角度	0°(傾きなし)
再構成フィルタ/アルゴリズム	標準または軟部組織(スムース、シャープ、骨、ディテールは不可) 造影剤は使用不可(関節造影不可) DICOM形式はグレースケールの生データ(フォーマットなし)
管電圧(kVp)	可能な場合は140 kVp、不可の場合は120 kVp
管電流(mA)	300mA(線量変調あり)、変調不可の場合は200mA以上(体格に応じて)

本書類は機密情報を含んでおり、Arthrex, Inc.の書面による事前の承諾なしに、第三者への複製、使用、または開示することを禁じます。

Arthrex, Inc.

Specifications for CT Scan Data Acquisition

Revision Level: 1

arthrex.com

© 2024-10 Arthrex, Inc. All rights reserved. LB7-000602-ja-JP_A

